

令和4年度第1学期始業式 式辞(R4.4.6)

校長 高瀬 知郎

校庭の桜も八分咲きとなり、春爛漫の季節を迎えようとしています。

2年生213名、3年生218名のみなさん、進級、おめでとうございます。

今日から新年度がスタートします。学年が一つ上がることで、果たすべき役割が違ってきますね。3年生は学校のリーダーとして、2年生は学校を支える中堅学年として、あらゆる場面で下級生の手本となり、力を合わせて雄山中学校を高めていってください。

しかし、私はあまり心配していません。なぜなら、雄中生を心から「信頼」しているからです。昨年度1年間のみなさんの「成長」を、しっかりと見てきたからです。

挨拶も、授業態度も、みなさんは1年間で大きく向上しました。

3学期の修了式で作文を発表してくれた、それぞれの学年代表の体験談には、みなさんの1年間が凝縮されているようでした。中学生としていろいろと迷い悩みながらも、ひた向きにがんばって自分を高めようとする姿。そんな自分を支えてくれる家族や友達への感謝。そして「他の人の役に立ちたい」という純粹な願い。二人の素直で一生懸命な気持ちがみんなに伝わり、この体育館全体が温かい空気で包まれたようでした。仲間話を聞いてみんなが感動を共有し、温かい拍手を送る。「雄中生は素敵だな」としみじみと感じた瞬間でした。

このような、みなさんの「成長」を感じとる場面に出会う度に、私は幸せな気持ちになり、雄中生が好きになっていきました。みなさんの成長は、「家族の幸せ」であり、「先生達の幸せ」であり、「世の中の幸せ」です。令和4年度も、いろんなことをいっぱいがんばって、周りの人を幸せにしてあげてください。そのがんばりを続けているうちに、将来、もっとたくさんの人を幸せにする力が身に付いてくるのです。

明後日、220名の新しい仲間を迎えます。生徒と教職員が力を合わせて、みんなが大きく成長できる、そして世の中を幸せにできる、温かい雄山中学校を築いていきましょう。